

彼と私の

×××

ド
イツ
と



梶尾真琴

楓風音響

Makoto Kajio Presents

アイツ
彼
私

の × × ×





…あたし…

両天秤
かけさせて
もらいます…!



はい？



は？



俺だって！

ああ泣かないの
雪を困らせたくて
告白したわけじゃ
ないんだよ
君のそばに
いられるなら
それだけで
嬉しいよ僕は



ごめんなさい
だってふたりとも
好きなんだもの
ふえ
今どちらか
ひとりを選
ぶなんて
できなくて

ほんとう…？

ゆっくり僕たちと
向き合って
考えてくれる
ってことだろ？

あわてて
まちがった答え
だされるより
ずっといいよ

お試し期間
みたいなもんだ

つき合いながら
答えを考えて
くればいいよ

ごめんね

ありがとう
ふたりとも

あれから半年

まだ答えを
だせずにいる

このまま
ズルズルするのは
いけないと
わかつているのに…

あたしって
ズルイ女



隣家で幼なじみの
柗平…柗ちゃんは
頭脳明晰の優等生



双子の弟で
スポーツ万能の
柗平…柗ちゃんは
明るくつて天下泰平

学校でも人気の
ふたりに比べて
平凡なあたし

なのにふたりとも
好きだつて
いつてくれる

その気持に
応えなくちゃつて
思うんだけど…



うん



柗のやつ
生徒会の仕事
もう少ししかかるつて

先に
帰ろーぜ



雪ちゃんーん
お待たせーっ

カ
ラ
ッ



あはははは

やだあ
梢ちゃん

——ってわけ

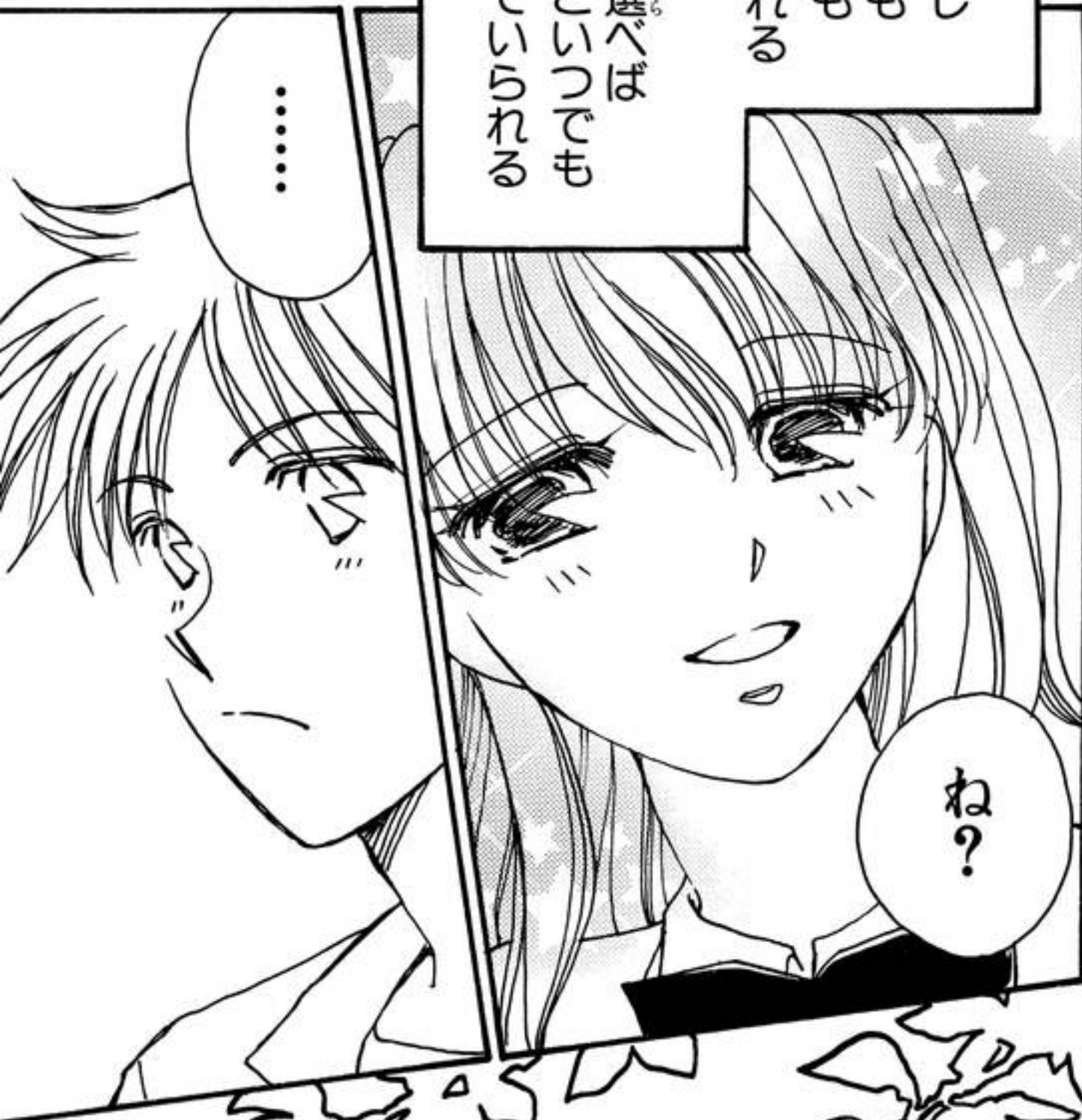


天気いいし
公園でも
寄ってこうか

うん

梢ちゃんは少し
強引なところも
あるけどいつも
楽しませてくれる

彼を選べば
きつといつでも
笑顔でいられる



.....

ね？



あは

そんなに
笑うこと
ないだろ

ごめん
ごめん

でもそこが
梢ちゃんの
いいところじゃん



ん...



雪ちゃん

こっちは

え

ほっ



ほっ
えっとね
ヨコ

ああ
これはね...



どこだい?
わかんない
のって

柊ちゃん



ああのね
宿題でちよっと
わからない
トコあって...



OK
今から
そっちいくよ



あ
はっ
なにに?

雪?



柊ちゃんは
クールとかいわれて
いるけれどむしろ
やさしくて安心できる
彼を選べば
あたしまで
ひとりでさっ
なれそう...



ドキッ
!



梢と
Hした?



なんなんてっ

あめ

だって雪は
梢とHなコト
した後必ず
会いたがるから

…やっぱり片方
とだけHすると
うしろめたい？

……
ん



……



雪は可愛いな
大好きだよ

でも僕は
ずるいから
そんな雪の気持に
のっかっちゃうけどね



柊ちゃん…

雪
目を閉じて



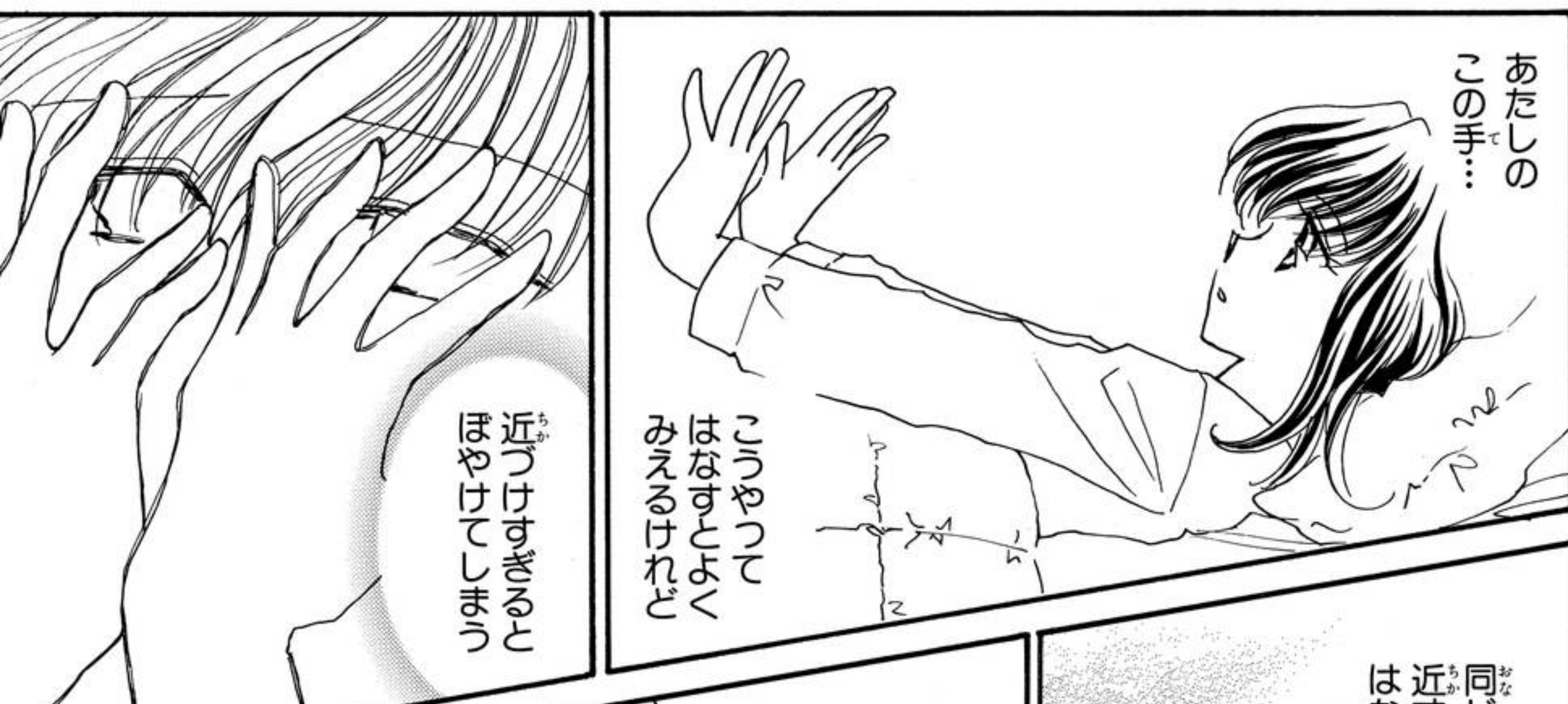
梢ちゃんとはして
柊ちゃんとHして…

あたしなに
やってんだろい

ふたりのことは
大好きだけど

それはまちがいないけど
どちらかを選ぶなんて
ほんとうにできるのかしら

あ…



あたしの
この手…

こじやして
はなすよめ
みえるけれど

近づけすぎると
ほやけてしまっ

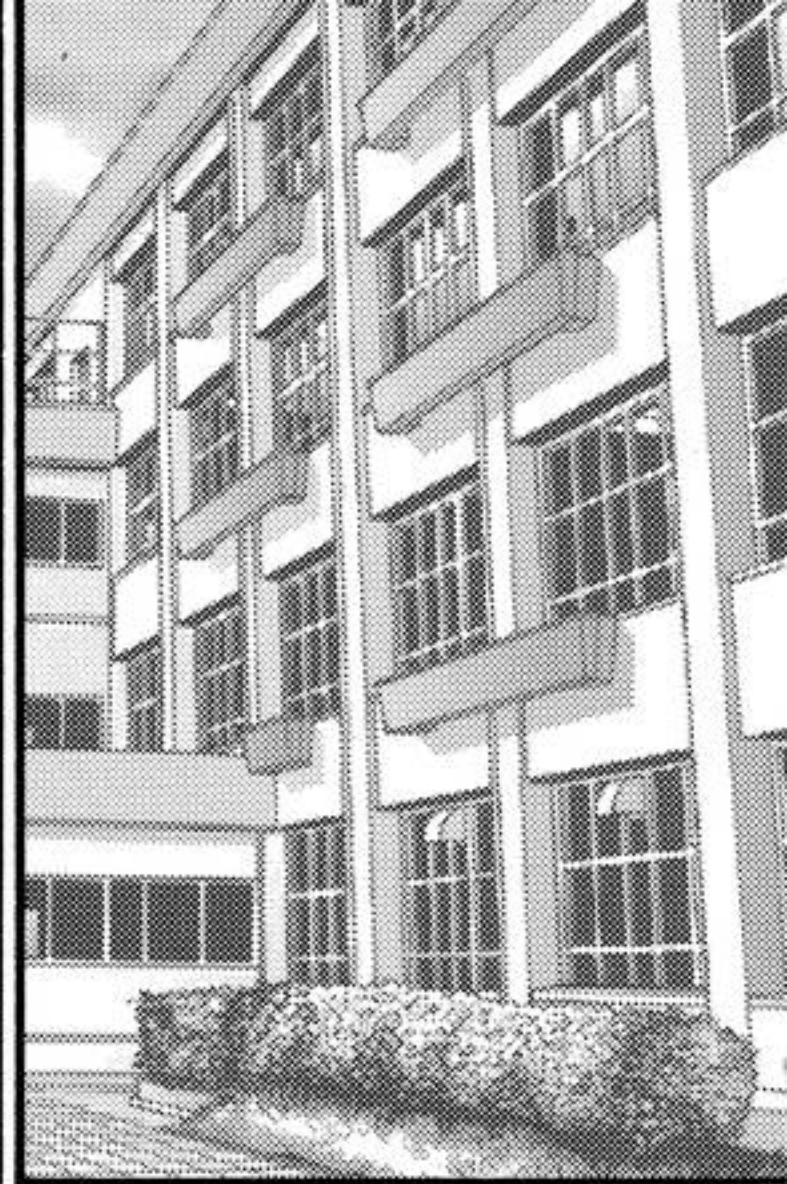
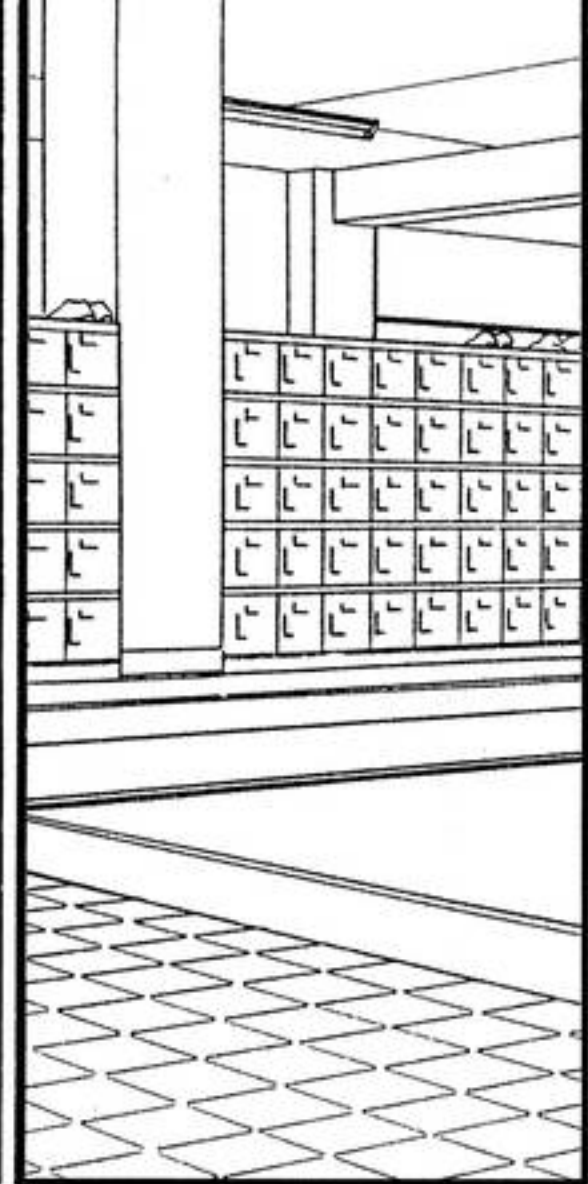


同じなのかな…？
近すぎてみえないものも
はなれれば…わかるかしら

少し…はなれてみるのも
いいかもしれない？

いつも3人
いっしょだけど

あしたはひとりで
登校してみよう



...

かたん

なんだよ
これは!?

えっ?

バク

梢ちゃんのファンも
柊ちゃんのファンも
熱いなあ

きょうもか...
あつちゃん

柊くんも
「あつちゃん」
何様の用
よバカ女!!

頭くんなあ
なに考えてんだ

大丈夫
さあ
柊ちゃんも

そんな
たまに...よ

それより...これ

こーいうこと
よくあるの?!

なんで先に家
でてんだよ!

雪ちゃん!

梢ちゃん
柊ちゃん

あーあ